

年に4回企画展を開催している金津創作の森美術館ですが、実は、ひとつの企画展を立ち上げるのに、2～3年前から準備を進めています。

ただいま、来年度開催の企画展の準備真っ盛り。市民の皆さんに楽しんでいただけるよう、作家らとともに創意工夫を凝らしながら準備をしています。今回は、一足早く、2022年度の春と秋に開催する内容と、作家のコメントを抜粋してご紹介します！

新年度

2022年度

企画展のご紹介



来春開催

こまつこうせい

小松宏誠展

光と影のモバイル森の夢

会期／2022年4月16日(土)ー6月12日(日)

〈浮遊〉への憧れから「軽さ」「動き」「光」をキーワードにさまざまな素材を用いて作品を制作している小松宏誠さん。本展では、風の揺らぎによって重力から解放されたかのように動くモバイルアートを中心に、光と影が美しく変化する空間を創り出します。

小松宏誠さんからのコメント

2020年に中止になった企画展を、来春に開催できるように動き始めました。コロナ禍で色々考える事もあり、ガラッと内容を一転させたプランを考えていたのですが、さらに一転して、今は2020年に抱えていた美しさに寄り添った、地続きのプランを考えています。そして更に、屋外でも遊んでみる事にしました。屋外は美しい反面、強度が必要です。自分は、繊細な作りと動きに美しさを感じている事が多いので、自然の中にあるような、しなやかな強度と美しさの研究をはじめています。4月にご覧いただけるのを楽しみにしています。



(c)kosei komatsu

美術館アートコア工事のお知らせ

■大規模な改修工事に伴い、下記の期間、美術館を休館します。休館に伴い、冬の企画展の開催はございません。

【全館休館】1月末まで 【一部休館】2～3月

なお、レストラン＆ショップアンビションは2月から営業を開始する予定です。どうぞご利用ください。

※上記日程は変更になる場合もございます。予めご了承ください。

新型コロナウイルス感染症に関する対応について

- 発熱や咳など、風邪の症状が見られる人および、体調の優れない人はご来館をお控えください。
- マスクの着用による咳エチケットや手洗い、消毒液による感染防止対策に、ご協力をお願いします。

発酵展

Fermentation Tourism Hokuriku
～発酵から辿る北陸、海の道

会期／2022年9月17日(土)ー12月4日(日)

知られざる47都道府県＆北陸のローカル発酵文化が金津創作の森に大集合。発酵デザイナーの小倉ヒラクさんを迎え、発酵から見えてくるその土地の文化や風土を紹介します。暮らしに身近な「食」とアートを掛け合わせ、美術館の空間に新たな風を吹き込みます。



(c)hiraku ogura

小倉ヒラクさんからのコメント

新幹線や高速道路が発達した現代では「道」といえば陸のこと。しかし、モーターもコンクリートもない150年ほど前の日本では「道」の主役は海でした。そして北陸は当時最もダイナミックな海の道の主役だったのです。「北前船」と呼ばれる帆船団が様々な物品をやりとりし、文化と経済を発展させていきました。

入江に恵まれた福井の小浜や敦賀、貿易の拠点となった能登、海産物の宝庫である富山湾。米主体で成り立っている内陸の経済とは違う、海の経済が根付いた北陸では寿司やへしこなどの「海の食文化」が発達し、同時に付加価値の高い酒や酢、出汁などが売買される貿易都市としての側面も持っています。そしてその独自の食文化を彩る器の文化からは、原料の木地を通しての内陸地とつながる「山の道」も見えてきます。

そう。北陸には稲作と定住文化ではない、もうひとつの日本文化のダイナミズムが隠されています。異なる土地から運ばれた原料を加工し、付加価値をつけ、貿易をする。北陸の海の道の発展は中世の農耕文化から近代資本主義へと移行していくターニングポイント。現代日本の地方文化の宿題であるデザインやブランディングによる価値づくりのヒントが眠っています。

伝統のようであり新しい、土着的なようで洗練されている、相反するダイナミズムを備えた北陸の発酵文化を探る旅に、いざ出発！



プログラミングを楽しく学ぶ

◆12月11日(土) 新郷小学校



休校活用事業の一環として、新郷小学校を考える会と株式会社VSNの共催により、パソコンやタブレットを使ったプログラミング教室が開催されました。

参加した親子14組は、学習用プログラミング言語「スクラッチ」でキャラクターの動作を設定して動かすなどプログラミングの楽しさを学びました。

参加者からは「プログラミングが楽しく学べてよかった」「これからもこのような機会を増やしてほしい」「入門編だけでなく本格的な教育ができる場所があるといい」といった声があがっていました。

あわら男女共同参画のつどい

◆12月12日(日) 中央公民館



2年ぶりに「あわら男女共同参画のつどい」が開催されました。この日は、男女共同参画に関する感謝状や図画の表彰、受賞者のインタビューなどが行われました。会場では受賞した作者本人が作品を朗読したほか、インタビューなどが行われました。

今後も男女共同参画が広く伝わるよう、男女が自分らしく共に輝くまちづくりを推進していきます。



愛称が決まりました！

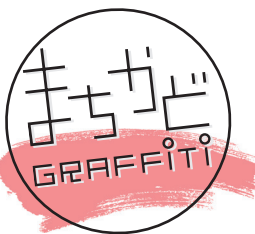
◆12月3日(金) 市役所

一般公募していた「老人福祉センター市姫荘」の愛称について、選考会を実施しました。審査の結果、応募総数90点の中から、神奈川県の内河裕信さんの案を元に「いきいきテラス いちひめ」に決定しました！

この名称には、元気に社会参加するいきいきとした高齢者たちを明るく照らす場所という思いが込められています。たくさんのご応募ありがとうございました。

まちかど graffiti では、広報係が取材した“あわらの話題”をお届けします！

※新型コロナウイルス感染症防止対策を行った上で、取材しています。



さらなる賑わいを生み出す

◆12月4日(土) 芦原温泉駅前



(仮称) 芦原温泉駅西口賑わい施設建設工事の安全祈願祭と起工式が行われました。

この施設は、あわら市の魅力はもちろん、嶺北の観光地の魅力を発信できるスペースやカフェ、レストラン、物販の販売などを行うものとなっています。

供用開始は2023年の4月を予定しており、市のランドマークとなるよう整備を進めていきます。

包括連携協定締結式

◆12月7日(火) 市役所



北陸電力株式会社と北陸電力送配電株式会社の2社と包括連携協定を結びました。この連携で、災害発生時の電力復旧に関することやゼロカーボンに向けた取り組み、地域イベントの協賛などが実現します。

北陸電力株式会社の村田支店長は「環境から観光まで幅広く協力していきたい」と話していました。

●月曜休館(祝日の場合開館、翌平日休館)

●(公財)金津創作の森財団 事務局 TEL.73-7800 <http://sosaku.jp/>

●アンビション(レストラン＆森の結婚式) TEL.73-4141

